

西広島バイパス都心部延伸事業 整備効果検討会

－ 第2回 －

平成31年3月19日（火）

目的・委員名簿



〔目的〕

西広島バイパス都心部延伸事業の整備効果等について、国、広島市及び関係機関において検討することを目的とする。

西広島バイパス都心部延伸事業整備効果検討会 委員名簿

所 属	役 職	氏 名	備 考
広島市 道路交通局	局 長	谷山 勝彦	(会長)
国土交通省 広島国道事務所	所 長	植田 雅俊	
廿日市市 建設部	部 長	河崎 勝也	
大竹市 建設部	部 長	坪浦 伸泰	
広島商工会議所 産業・地域振興部	部 長	山田 昌徳	
(一社) 中国経済連合会	部 長	高見 佳宏	

※事務局：国土交通省 広島国道事務所 計画課
広島市 道路交通局 道路部 道路計画課

検討会の議題項目



- 1 事業概要
- 2 事業に係る地元状況の確認
 - ・ 事業の経緯、地元経済界、沿道地域、事業反対者、広島市議会
- 3 事業の必要性・効果の確認
 - ・ 事業の今日的意義
 - ・ ストック効果
- 4 費用対効果
 - ・ 便益
 - ・ 費用

検討結果を速やかに国土交通大臣に報告



今回の検討内容

1 事業の必要性・効果の確認

(1) 西広島バイパス都心部延伸区間の現状（交通混雑、騒音）

(2) ストック効果

- ・ 交通混雑の緩和
- ・ 沿道環境の改善

2 まとめ

(1)－1 西広島バイパス都心部延伸区間の現状（交通混雑）

- 西広島バイパス都心部延伸事業
整備効果検討会



写真②



写真③



写真④



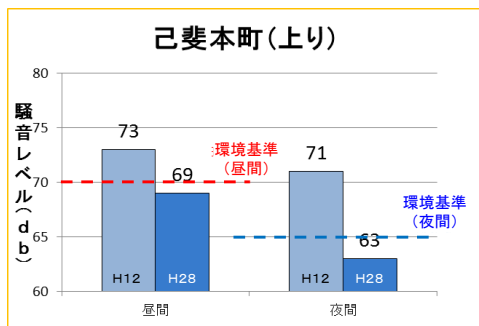
1 事業の必要性・効果の確認

(1) - 2 西広島バイパス都心部延伸区間の現状（騒音）

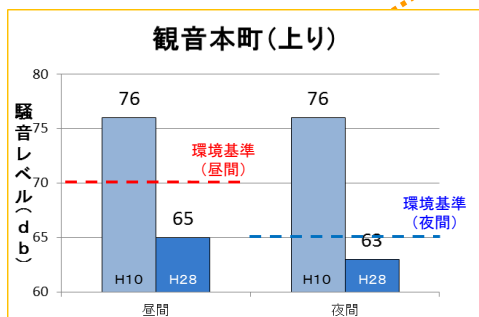
西広島バイパス都心部延伸事業
整備効果検討会

- 高架整備区間では、大型車等の交通を遮音壁等の環境対策が可能な高架道路へ転換し、各種環境対策により環境基準を満足している。
- 一方、未整備区間において騒音値は環境基準を超過している。

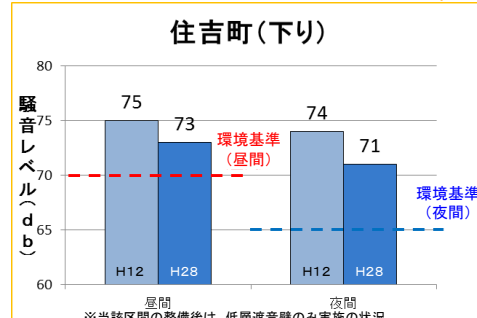
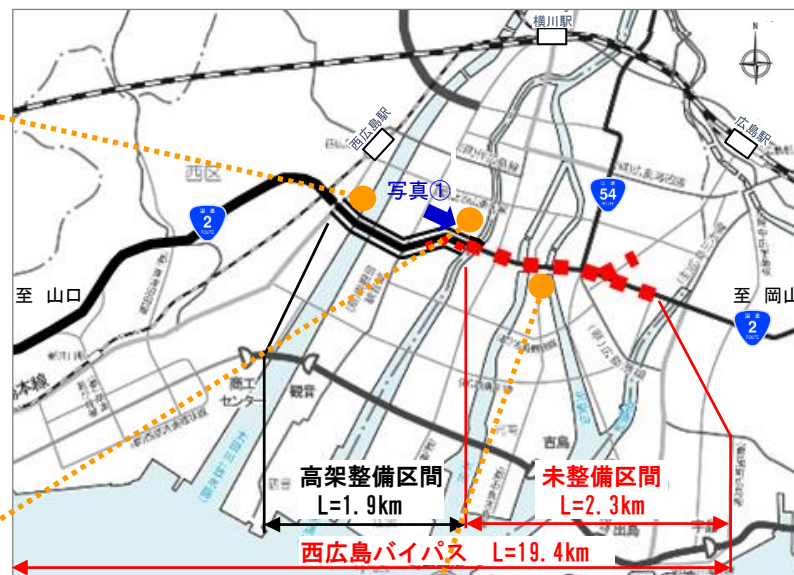
国道2号の騒音状況



高架整備済区間



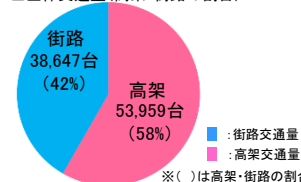
上り線オランプ整備済区間



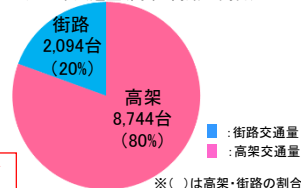
未整備区間

交通量内訳(整備後)

■全体交通量(高架・街路の割合)



■大型車交通量(高架・街路の割合)



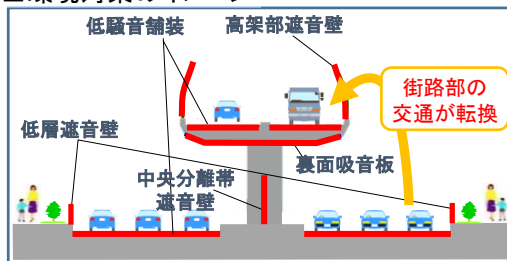
整備前 -BEFORE- 写真①(観音地区)



整備後 -AFTER-



環境対策のイメージ



【H26.1広島高裁 判決文(抜粋・要旨)】

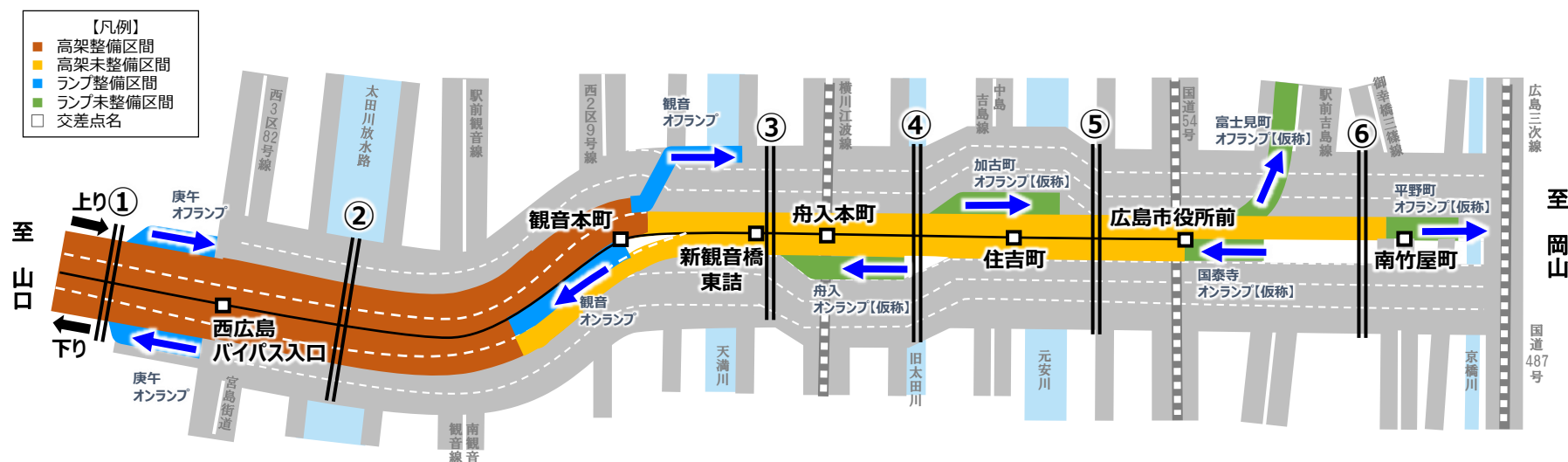
事業が全線完成して道路がさらに延伸されることにより、渋滞が緩和されて沿道全体の騒音が軽減する可能性が高いと思われる。

1 事業の必要性・効果の確認

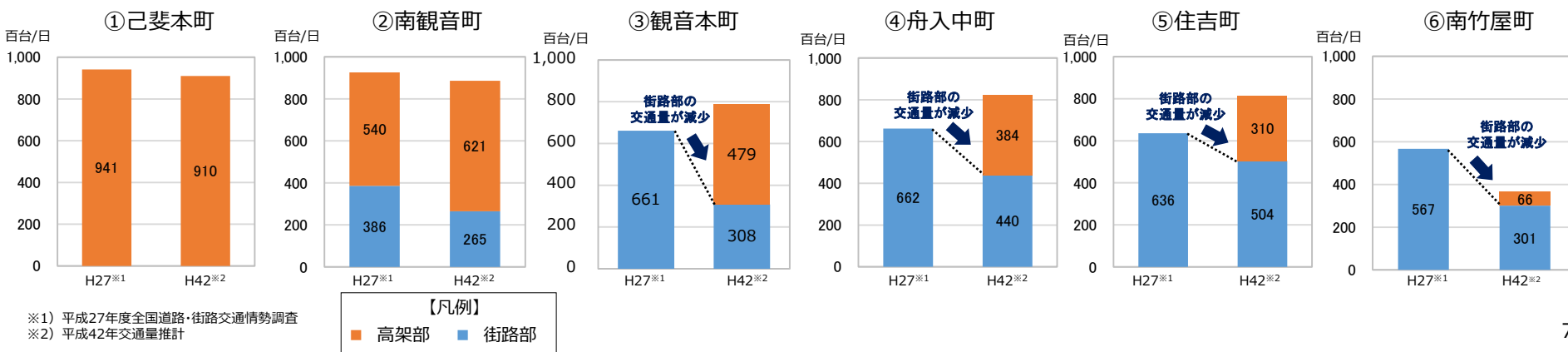
(2) - 1 ストック効果（交通混雑の緩和）

西広島バイパス都心部延伸事業
整備効果検討会

- 高架道路が整備されることで、街路部から高架部へ交通の転換を図ることにより広島市中心部の国道2号及び西広島バイパス出口付近の交通混雑の緩和が期待される。



【高架部および街路部の交通量】



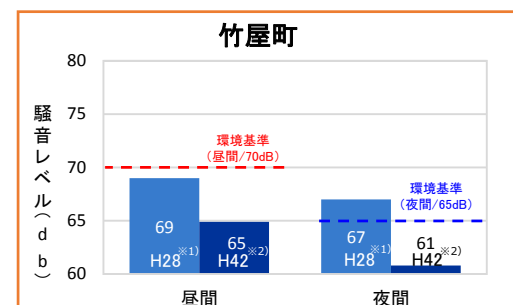
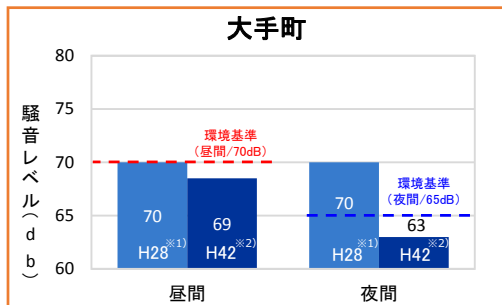
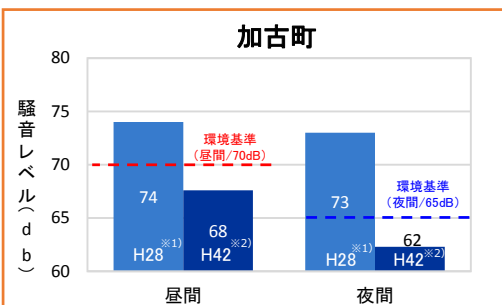


1 事業の必要性・効果の確認

(2) - 2 ストック効果（沿道環境の改善）

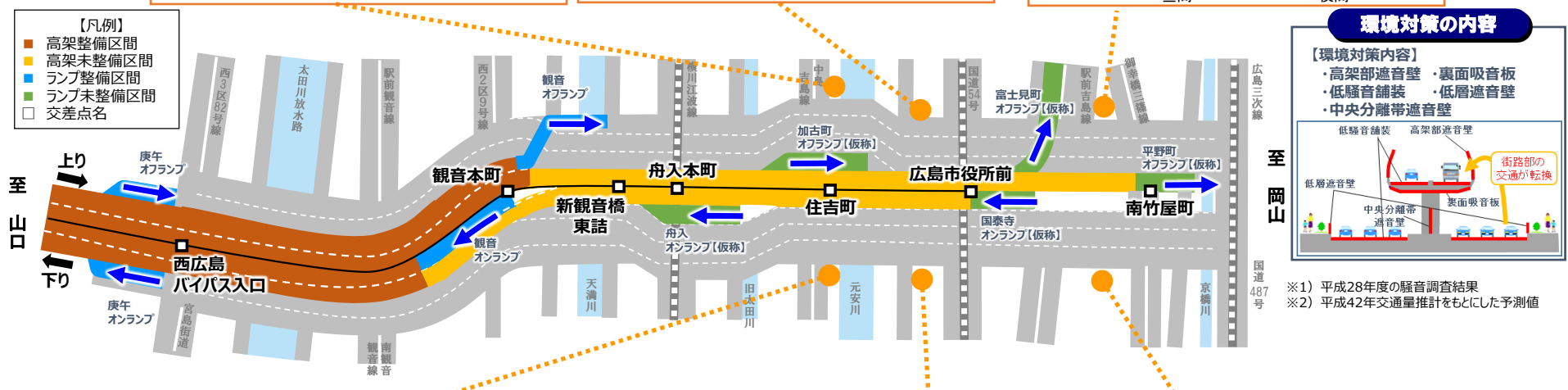
- 大型車等の交通を遮音壁等の環境対策が可能な高架道路へ転換し、国道2号の交通負荷および沿道環境への負荷を低減させることによって沿道環境が改善される。

【上り方向】



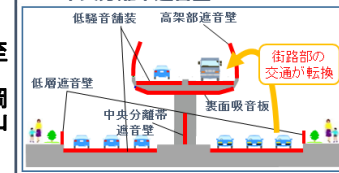
【凡例】

- 高架整備区間
- 高架未整備区間
- ランプ整備区間
- ランプ未整備区間
- 交差点名



環境対策の内容

- 【環境対策内容】
- 高架部遮音壁
 - 低騒音舗装
 - 中央分離帯遮音壁
 - 裏面吸音板
 - 低層遮音壁



- ※1) 平成28年度の騒音調査結果
※2) 平成42年交通量推計をもとにした予測値

【下り方向】

